

出身校と言うと必ず最終学歴が話題になります。

私は香川大学経済学部卒なので「香川大学出身の苧坂」と言うことになり同窓の先輩、後輩も「誰々は苧坂の香川大の先輩」であるとか「・・・の後輩」であるという言い方をしますので中学や高校が話題になることはあまりありませんでした。高校が話題になったことで私が覚えているのは、ずっと昔上司であり郷土の先輩でもあった福井（旧姓井下）さんが大阪市大出身でしたが、甲子園大会が始まると当時よく出場していた高松商のOBに突如変身し、周りから冷やかされながらも熱心に応援していたのを思い出します。

私は国土時代昭和48年から56年までと平成4年から7年まで2回、人事部に在籍し、多くの方の学歴は頭に入っていました、ほとんどは最終学歴のみでした。

私の出身高校は香川県立高松高校です。人事部の利を活かして在籍時代、大学は違っても高校が同じと言う方を何人か知ることができました。

ところが国土を退社後OBとして出入りするようになって高校が同じだけでなく、野球部のOBが自分を含め3人もいたことがわかりました。（私以外の2人はまだ現役の国土社員です）最終学歴はリクルート活動等でつながるので複数の社員がいても不思議ではありませんが、四国の田舎で同じ高校出身者が何人もいたことも珍しいことですが、別々の時代に同じクラブに所属していた人間が1,000人の会社に3人もいたことは奇跡に近いことのように思え、大げさですが元高野球部員の感性にフィットする何かは国土という会社にはあったのではと、自分がこの会社にいたことを嬉しく思えました。

高松高校は旧制高松中学、香川県立女学校を前身とする伝統校で昨年創立120年を迎えました。これだけならOBの皆さんも古い伝統校ご出身の方は多いと思いますが、我校の自慢は記念すべき第1回甲子園大会の出場校なのです。

今年夏甲子園大会100回を記念して12月に甲子園で「第1回大会に出場した10校が夢の舞台で再会」のテーマで朝日新聞の後援とマスターズ甲子園事務局の協力で開催されることになり、各校の野球部OB会が出場することになりました。私も応援と甲子園キャッチボールの参加を今から楽しみにしています。（関連新聞記事次ページご参照）

それから、最近NIPPON-1.NETで「団体としての高校同窓会参加人数日本一」に2005年の東京支部の総会で1,130人参加したことが選ばれました。  
<http://tinyurl.com/mp3n652>

この年の春の甲子園大会に21世紀枠で選ばれ72年ぶりに甲子園出場を果たしその熱気が3ヶ月後の同窓会にも繋がったのですが、地方に本部がある学校の支部の集まりで参加数が日本一になったことはOBの絆の強さと愛校心の表れだろうと少し誇らしい気持ちになっています。

# 100年前球児の夏再現

## 「甲子園」第1回出場校OB対戦へ

夏の高校野球の全国大会が始まって来年で100年。その節目の年に、第1回大会(当時は全国中等学校優勝野球大会)に出場した10校の野球部OBが兵庫県西宮市の阪神甲子園球場に結集する。当時の初戦と同じカードで戦い、熱戦を再現する。



### 第1回全国中等学校優勝野球大会

1915(大正4)年8月18~23日、大阪・豊中グラウンドで開催。東北から九州の9地区の代表と春の都下大会で優勝した早稲田実業の計10校が参加し、京都二中が優勝した。41~45年は戦争で中断。48年から全国高校野球選手権大会になり、2018年に100回大会を迎える。

朝日新聞・村山龍平社長の  
始球式で大会は始まった  
1915年8月18日、大阪  
・豊中グラウンド

